

教育広報

いわみざわ市の教育

…特集… 新教育長就任 ～これからの岩見沢市の教育を考える～
安全・安心な学校給食のために



岩小、さよなら ARTプロジェクト始動！

校舎の改築を行っている岩見沢小学校で、現在の校舎に思い出を残そう！と「さよなら ART プロジェクト」が立ち上がりました。

体育館のカーテン 4 枚に、1～6 年生までが協力して春夏秋冬をイメージした絵を描くという活動で、子どもたち一人ひとりの思いがこもったカーテンになりました♪

新教育長就任

これからの岩見沢市の教育を考える



ます じん かず とし
舩甚 和俊 教育長

—約37年間教職員として勤務されていましたが、その経験を教育行政にどう活かしていきたいですか？

市教委は教育行政方針を提示して、あとは学校に全面的に任せてくれます。

そのため、校長の責任の下、各学校は子どもの実態に合った効果的な教育活動を展開できます。予算措置してくれるシステムもあります。このように、教育現場を重視し、教職員が子どもたちのために働きやすい環境づくりを今後も踏襲し、さらに充実していきたいと考えています。

—岩見沢市の子どもたちにどのような大人になってほしいですか？

変化の激しい社会に柔軟に対応し、将来の夢や希望を持ち、それを実現させるために「知・徳・体のバランスのとれた力」をもった大人になってもらいたいと考えています。

—ありがとうございます。最後に、今後教育長として岩見沢市の教育をどのようにしていきたいと考えていますか？

子どもたちが生き生きと輝く学校教育の充実のもとより、市民が生涯にわたって主体的に学び、スポーツや文化活動に取り組める環境づくりの充実を図っていききたいと考えています。

—岩見沢市の教育の現状をどう考えていますか？

2008年から緑中学校長として、学校現場で直接教育に携わっていた舩甚和俊氏が10月1日、教育長に就任しました。
子どもたちがますます輝く教育を目指し、岩見沢市の教育行政を先導する舩甚新教育長に、岩見沢市の教育への思いなどを聞きましたのでご紹介します。

岩見沢市の教育は空知管内でもトップクラスだと思っています。学力・文化活動・スポーツ活動、すべてにおいて子どもたちがよく頑張ってくれています。これは、各教育現場で校長を中心に組織的な教育活動を推進してくれているからです。しかし、子どもたちはまだまだ伸びる力を持っています。一人ひとりの子どもたちの確実な成長をこれからも図っていくことが重要と考えています。

一問一答！ 教育長に聞きました

●好きなスポーツ	野球、バドミントンなどをやっていました。また、陸上競技と相撲の中体連にでたことがあります。今は、スキーとゴルフを楽しんでいます。
●休日の過ごし方	休日の優先順位は、ゴルフ・家庭菜園・山菜採り・温泉です。
●座右の銘	「天に星 地に花 人に愛」(武者小路実篤著) 天や地、人にそれぞれかけがえのないものがあるように、誰にでも「輝く良いところが必ずある」と勝手に意識しています。
●尊敬・目標とする人物	堀前教育長。「俺は日本で一番の教師だから、それに教わっているあなた方は一番になるはずだ」この言葉が好きでした。
●好きな給食の献立	なんと言ってもカレーライスが一番です。
●岩見沢市の好きなところ	緑が豊かで地場産の野菜やお米がとても美味しいところです。交通の便もよく、買い物や医療機関も揃っていて快適に過ごせます。

安全・安心な 学校給食のために



教育委員会では、安全で安心な学校給食を提供するため、これまでさまざまな取り組みを行ってまいりました。

今後におきましても、衛生管理の徹底はもちろんのこと、衛生的な環境で調理が行えるよう必要な改善を行い、安全・安心で子どもたちがおいしく食べられる給食の提供に努めてまいります。

今回の教育広報では、市民の皆さまにご安心いただくため、給食再開から今日までに行った主な改善の内容などをお知らせします。

① 炒め物の調理を行う際に大型自動回転釜の自動かくはんの使用を最小限にし、調理員の手作業で調理するようしました。



② 調理室内の湿度の上昇を抑えるため、床が常に乾いた状態を保てるよう、床の塗装を行いました。

③ 清潔な環境で調理が行えるよう、調理室内の天井や壁の清掃・消毒を強化しました。

④ 調理所では、すべての職員を対象に研修会を実施しています。1学期終了時には、保健所の方を講師に招き実施したほか、内部の研修や朝のミーティング時における衛生管理への啓発を実施しています。

⑤ 食品庫や下処理室などの換気設備工事を行い、温度や湿度が適正となるよう改修しました。



今後も、安全でおいしい給食を提供するため、必要な改善や改修は随時実施してまいります。

家でできる

簡単給食しんぴ♪

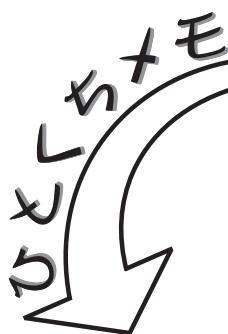
「鉄（てっ）ちゃんやきとり」

材料（4人）

- * 鶏もも肉 200 g
- * 長ねぎ 約1本
- * プルーンピューレ 大さじ 2
- * 酒 小さじ 1
- * しょうゆ 小さじ 1
- * 無添加コンソメ 小さじ 1
(またはコンソメ)
- * 三温糖 (または砂糖) 小さじ 1

作り方

- ① 鶏もも肉を 3cm 角に切ります。
- ② 長ねぎは、太めの小口切りにします。
- ③ 調味料は、全て合わせておきます。
- ④ 長ねぎ、鶏もも肉を炒め、③を入れてもう一度炒めたら、串の無い鉄ちゃんやきとりのできあがり。



なぜ「鉄ちゃんやきとり」かというと、味付けに秘密があります。それは、たれに鉄分の多い「プルーン」を使っているからです。

給食では、プルーンピューレを使っています。9月中旬すぎから「生のプルーン」がたくさん出回るので、皮と種をとったプルーンを味付けに使ってみるのもいいですよ。最近では、鉄分不足で貧血の子どもたちも増えています。プルーンが少し苦手な子どもでも知らず知らずに鉄分をとることができる1品です！

育活動 学校自慢



町中でもできる

農業体験を目指して

東小学校

東小学校は開校以来農村地域の学校として歩んできましたが、国道12号線のバイパス化により、公営団地・戸建住宅が建ち並び、郊外住宅地の学校へと変わりました。子どもたちに与えてあげたい、「自然体験」を通常の教育活動に取り込むことが課題となってきました。

平成20年、校地の一角にスコップ一つの手作業で開墾した最初の田が作られ、お米を収穫しました。平成21年には土を運び込み、さらに面積を倍にした田となりました。それはまるで、この地に開拓に入った先人の歩みのようです。



(脱穀の様子)



(田植えの様子)



(稲刈りの様子)

今では5年生児童と担任が、かわらぬ農家の方のアドバイスと様々な便宜（苗の提供・脱穀機、精米機の貸与・わらじ作りの体験指導など）をいただき、「ゆめぴりか」を育てながら、町中で農業を体験しています。

地域に育てられる子どもたち

美園小学校

美園小学校には地域とのつながりにより、子どもたちが育てられている面が多くあります。育成会による『作って遊ぼう昔遊び』は、平成9年より



(作って遊ぼう昔遊びの様子)

続いて行っている行事です。身近な材料を使って昔から伝わるおもちゃを作ったり、伝承遊びを教えるもらったりしながら、美園つ子と地域の方々とふれあい交流を大きなねらいとしています。また、『ラジオ体操』は美園小グラウンドを中心として、のべ400人の小学生や大人が取り組み、終了後は小学生がおじいさん、おばあさんのカードに、はんこを押す微笑ましい光景も見られます。さらに、地元の団体「ほほづえの会」による『読み聞かせ活動』や、地域の方が指導してくださる『放課後学習教室』、町内会と協力して取り組む『公園清掃活動』などの取り組みもあります。これからも、地域と手を取り合い子どもたちを育てていく美園小学校であり続けたいと強く願っています。



(読み聞かせ活動の様子)

特色ある教育



市内 26 の小・中学校・市立高校を順に紹介していきます。

人との関わりから学ぶ

栗沢中学校

栗沢中学校の生徒が心身ともに健やかに成長できるように、知・徳・体の調和のとれた教育活動を展開しています。学力向上を大きな目標として授業改善を図る一方、地域の方々と共に行動する、または地域の方々から学ぶ機会を設けています。

○陶芸教室

栗沢の陶芸家を招き、2年生の美術科で陶芸教室を実施。初めての経験で、思うように形にならないなど苦労していましたが、個性的な作品ができました。秋の『栗展』に展示しました。



○茶道教室

更正保護女性会の皆さんのご協力を受け、伝統文化に触れる貴重なひとときです。3年生が卒業する直前に実施しています。人生をたくましく切り拓いていくための基礎の一つになると期待します。



○クリーン作戦

生徒会が主催し、学年ごとに割り当てられた地区のゴミ拾いをします。規範意識を育てるとともに、自分たちの住む街は、自分たちできれいにする(守る)という意識を強めてほしいと願っています。

少人数のよさを最大限に活かす

美流渡中学校

今年度は全校生徒16名、教職員12名の学校体制です。本校の一番の特色は、この少人数であることを最大限に活かす教育活動にあります。

○わかるまで、できるまで、やり遂げるまで

個に応じた丁寧な学習支援を実践しています。生徒一人当たりの発言や作業量の多さは生徒達の頑張りを喚起しており、余裕を持って学習できる恵まれた施設設備の中、いきいきと活動しています。また、校外の方から学ぶ機会として地域交流や体験学習を多く取り入れる工夫をしています。

○一人ひとりの個性が輝く

学校行事では生徒の全員で作り上げようとする意識が高く、担う役割に個性を十分に発揮しながら取り組んでいます。発表する場も多く、達成感が自信につながり、一人ひとりをより輝かせるものとなっています。



(必ず自分の手で操作する)



(個に応じた放課後学習)

市日連

の活動

7月23日(土)の午前9時50分より文化センターにおいて、約500名近い市内幼小中高の保護者・教職員の参加をいただき、本年度の研究大会を開催しました。

昨年度、岩見沢市PTA連合会におきまして「携帯電話に関する実態調査」を実施し、その結果と学校現場の報告を基に、小中学生の《携帯電話の原則所持禁止》を宣言いたしました。しかし、保護者の中にはある程度理解しつつも、「家庭のルールを作って親が管理すればいいのではないか」、「治安の悪化が進む今、安心・安全という観点から必要不可欠ではないか」などの意見があり、戸惑いを感じていることが事実でした。

そこで本大会では多くの保護者の方々に《携帯電話トラブルの脅威と子どもたちが受けるリスク》などを再確認していただくことで、子どもたちを守るための情報を共有したいと考えました。「なぜ、携帯電話の原則所持禁止なのか」を理解していただけたものと思います。併せて将来、携帯電話

を所持する時期になったときの「親業」としての知識を涵養(かんよう)することのできる機会として、渡辺孝一市長の挨拶の後、基調講演、プレゼンテーションという内容で実施しました。

○基調講演(第1部)

演題を『ご存知ですか？携帯電話の本当の落とし穴』とし、警察庁少年有害環境対策検討委員会委員をはじめ、数々の役職を務めている磯野爽氏の講演がスタートしました。



最初は、料理やネットの使い方・便利さなどについて、笑いのうちに話が進んでいきましたが、携帯電話を使ったプロフやサイトに話が及ぶと、私たちの知らない世界が続々と出てきて、驚きや不安を感じさせ、「これはきちんと考え、子どもと話さなければならぬ」という雰囲気になりました。

現実には私たちの想像をはるかに超えており、今回の話を聞いてためになったどころではなく、使い方の注意からゲーム(このサイトから犯罪も起きており、無料のはずがそうではないものもあるなど)、怪しいサイトへの接続、架空の支払い請求への対処などなど、ある意味ではショッキングな講演だったかもしれません。

参加者の中には、「もっと早くこの講演を

聞きたかった。でも、聞いてよかった」と思った方も多かったのではないのでしょうか。今後、さらに多くの方に聞いてほしい講演内容だったと思います。

また、最後にPTAの成り立ちなどPTA活動にふれ、磯野氏本人の体験から素晴らしいお話を聞くこともできました。

○プレゼンテーション(第2部)

『今、岩見沢の子どもたちの携帯トラブルの実態と、そして、どう取り組んだか』という演題で緑中学校の熊林優教諭をプレゼンターとしてお招きしました。



第2部では、第1部の基調講演を受けて、実際に岩見沢市内における現状についてのお話をいただきました。子どもと親の認識のずれや実際に起こっている問題、そしてその解決のために苦労している学校現場の実態などが生々しく話されました。

今回の研究大会が、子どもたちが安心して過ごすことができるための手立ての一つになれば幸いです。「すべては子どもたちの幸せのために」を合言葉に、これからPTA活動の一層の充実を図っていきます。

《問い合わせ先》

岩見沢市PTA連合会事務局

事務局長 岩田 克範

(第一小学校 教頭)

TEL 22局0360
FAX 22局5493

昨日の我に 今日は勝つべし

岩見沢剣道連盟

岩見沢剣道連盟は、現在、大人の会員が55名、その他1大学、5高校、1中学、4剣道教室で活動が行われています。

剣道は、幼稚園の児童から米寿を迎えた大先輩までが同じ道場で竹刀を交えて

楽しみ、汗を流し、鍛え、剣理を追求し、心を磨き合うことができます。

剣道は、いつからでも始められ、何歳までも行える、生涯通して行えるスポーツです。剣道を始めたいと考えている方がいましたら、遠慮なく岩見沢剣道連盟へ来てください。

また、市内の剣道教室では、剣道を始めたいという小学生の皆さんを待っています。

初心者の方にも丁寧に指導する



体制ができており、意欲ある子どもはどんどん力を付けることができます。剣道教

室の活動の一部を紹介しますと、練習の開始時と終了時には、「正座」を行います。その日一日の活動の目標を立て、基本技術の向上を主眼として練習します。練習の最後には、自身の活動を反省し、次回に活かします。

また、級や段の試験を受けることにより、自身の技術の向上度合いを知ることができます。

今年、現時点での各種試合結果は以下のとおりです。(全国大会関係のみ、大学、大人は割愛)

○小学生 鉄北少年剣道教室

道場連盟全国大会出場

○中学生 光陵中剣道部(男・女)

全道中体連大会優勝

・全国大会出場

剣道とは「剣の理法の習練による人間形成の道」です。技術は手段として、心身共に健全に成長することが主目的であるということ、指導者は常に意識しながら活動しています。



私と陶芸

近藤 尚

私が陶器に興味を持つようになったのは、昭和9年の秋に、父が京都のお土産に買った焼きたき物を見たのがきっかけでした。私たち兄弟3人(兄7歳・私4歳・弟2歳)に「これが清水焼というものだ」と

言って見せてくれたのです。子どもだった私には、それがとても強く印象に残りました。以来焼き物を見れば、常に「これは何焼きですか」と人に尋ねていました。

昭和34年から市内6条東13丁目に住むようになったところ、道路の向かいにこぶ志窯があり、それ以来土・日曜は窯元に通って見学していました。邪魔ばかりしては悪いので、庭はき、草刈りなどを手伝うようになり、4年目に「おまえも

何か作ってみろ」と言われて、粘土6kgを買って、家で高さ30cm位の筒物を紐作りで作



りました。それを見て三秋先生が大変褒めてくれました。こんな不器用者の作品も見人が見れば物になっていくのだと思い、以来陶器作りになつたのです。

1990年から市内明成中学校全校生徒陶芸教室のほか、北は礼文島香深小学校父兄を対象に、南ははるか遠いフィリピンのマニラから北に300kmのところにある電気も水道もない集落で、日本の陶器作りを指導しています。

ある時、市内の歯科医院に行くことがあったのですが、受付の女性が私の顔を見て「あの時作ったコーヒーカーップ、今でも使っています」と言ってくれました。あれから20年も経っているのに、カップは壊れることなく使ってもらっていることを知り、陶器は地球のある限り存在するのだ、という思いを強くしました。



育英会から

岩見沢育英会は、経済的事情により修学、進学が困難な学生を支援するため、市民の善意を主体に、道内で唯一の民間団体として昭和34年に設立されました。

毎年30名前後の学生に奨学金を貸与すると共に、社会有用な人材育成を目的に、皆さまからご協力いただく会費、寄付金等を財源として運営しております。申込資格を満たす方は、奨学金を申し込みますので、育英会までご連絡ください。

◆申込資格

- 岩見沢市民の子弟であり、向学の念に燃え、大学、高等学校、高等専門学校、各種学校に学ぶ方
- 学業成績・素行・健康状態が良好であること
- 学費の支払いが困難で、他から学資の貸与を受けていない方

◆奨学金額

区 分		貸与月額	返 還 期 間
<高校> 又は、同程度の学校	国公立	10,000 円	卒業後 6 ヶ月据置き 6 年以内（無利息）
	私立	12,000 円	
<大学> 又は、同程度の学校	国公立	25,000 円	卒業後 6 ヶ月据置き 10 年以内（無利息）
	私立	30,000 円	

また、事業運営には安定的な財源の確保が不可欠です。育英会事業の趣旨をご理解いただき、ご協力いただける方は、会費を一口千円（年額）から受けておりますので是非、育英会までご連絡ください。

申込・連絡先

育英会事務局窓口
岩見沢市役所 2 階
教育委員会内 内線 386

学校のことでお悩みの方

青少年センターまで！

青少年センターでは、何らかの事情で学校に通えない子に対して学校復帰へと導くために、個別の対応で登校支援を行っています。

悩んでいる子どもたちから直接相談を受け付ける体制も整えていますので、学校のことで悩みのある子どもたち、保護者の方は青少年センターへご相談ください。

【連絡先】 有明町南 1 番地 20
コミュニティプラザ地下 1 階
☎ 33 局 3333 FAX 25 局 0777

教育広報の WEB 版でカラー写真もご覧いただけます！
市教委 HP のトップページにある、このロゴをクリックしてご覧ください。

ここをクリック！



教育広報 いわみざわ市の教育

＝ご意見・ご要望をおよせください＝
<担当>

岩見沢市教育委員会学校教育課情報企画係
☎ 068-8686

岩見沢市鳩が丘 1 丁目 1 番 1 号

☎ 0126-23-4111（内線 416）

FAX 0126-25-2995

メール ejyouhou@i-hamanasu.jp

いわみざわ市民大学



「いわみざわ市民大学」の修士号取得者の中で、地域活動の先導役を目指す方が、更に深い知識を身につける場として「いわみざわ市民大学大学院」を新たに開設いたしました。

第 1 期生となる大学院生には 9 名が選考され、8 月 8 日（月）に開講式と元白老町長の見野全氏による「まちづくり

論」をテーマにした 1 回目の講義が行われました。

大学院生には卒業までの 2 年間、まちづくりに関する多くの専門家の講義を受けるとともに、それぞれが定めたテーマについて自主研究に取り組み、その成果を地域で活かしていただく予定です。



第 1 期生のみなさんです

ちょっと
ミニ情報

いわみざわ

子育て支援センター

いわみざわ子育て支援センターでは、子育てを応援するため、子育て相談や様々なイベント情報、遊び場や子どもを預かってくれる施設の情報などを提供しています。

子育てに困ったときは、いわみざわ子育て支援センターにご連絡ください。また、市教委 HP にも子育て支援センターについての情報がありますので是非ご覧ください。



子育て情報募集中!!

子育て中のお母さんとお父さんを応援するため、子育てに関するさまざまな情報を収集しています。子育てに関する耳寄りな情報があれば、是非ご連絡ください。

みなさんからの情報提供を
お待ちしております♪

【連絡先】 ☎ 22 局 3337

